



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社グラッドキューブ 上場取引所 東
 コード番号 9561 URL <https://corp.glad-cube.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役 CEO（氏名） 金島 弘樹
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 CFO（氏名） 西村 美希（TEL） 06-4400-2188
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	723	△6.7	138	△51.0	141	△50.3	96	△48.2
2022年12月期第2四半期	775	—	283	—	283	—	185	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第2四半期	11.83		11.34					
2022年12月期第2四半期	25.01		—					

- （注）1. 当社は、2021年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2022年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2022年12月期第2四半期における当社株式は非上場であり、期中平均株価を把握できないため記載しておりません。
 3. 当社は2022年6月11日付で普通株式1株につき6株の株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,889	1,413	48.9
2022年12月期	2,908	1,316	45.3

（参考） 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,413百万円 2022年12月期 1,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,486	0.4	345	△25.2	345	△24.1	224	△24.4	27.63

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期2Q	8,136,000株	2022年12月期	8,136,000株
2023年12月期2Q	一株	2022年12月期	一株
2023年12月期2Q	8,136,000株	2022年12月期2Q	7,431,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、2022年6月11日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第2四半期累計期間における日本国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行もあり、徐々に正常化に向かい景気は緩やかに回復しております。しかしながら、世界的なインフレの進行やエネルギー価格の高騰等により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。その一方で、当社の属するインターネット広告市場は、AIが社会に与える影響への関心の世界的な高まりや業務効率化等のための「デジタルトランスフォーメーション(DX)」が社会に定着したことで、活況が続いていると見ております。

このような状況下、当社では引き続き、サイト解析ツールの機能拡充、動画制作体制の強化、競馬予想AIのサービス拡大、オンラインセミナーの実施、SNSを活用した発信等、拡大を続けるインターネット広告市場と、インターネット利用者のニーズに応えるべくソリューションを提供してまいりました。

この結果、当社の当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高723,296千円(前年同期比6.7%減)、営業利益138,879千円(前年同期比51.0%減)、経常利益141,191千円(前年同期比50.3%減)、四半期純利益96,254千円(前年同期比48.2%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① SaaS事業

当第2四半期累計期間において、引き続き「SiTest(サイテスト)」のツール販売だけでなく、SiTestを活用したコンサルティングや付随する解析サービスの提供を行ってまいりました。また、関連するサービスであるDX支援やウェブサイト等の制作において、好調を維持していることから、売上は順調に推移いたしました。新プロダクトの「FasTest(ファーステスト)」においても緩やかながらユーザー数を伸ばしております。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は322,021千円(前年同期比16.6%増)、セグメント利益は194,832千円(前年同期比16.2%増)となりました。

② マーケティングソリューション事業

インターネット広告市場及び動画広告市場が拡大しているものの、一部で広告費を抑える動きも見られました。このような状況下、マーケティングソリューション事業においては、従来のインバウンド営業に加え、既存顧客からの継続的な受注及び協業パートナー企業からの案件受注を推し進めてまいりました。また、業務提携先企業への人材派遣ではマーケティング支援を行いながら広告案件受注に繋げる取り組みを実施してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は350,431千円(前年同期比15.5%減)、セグメント利益は157,687千円(前年同期比42.1%減)となりました。

③ SPAIA事業

前事業年度に引き続き、顧客満足度向上を目的としたシステム開発・サービス改善施策を実施してまいりました。これらは既存の有料会員向けの施策であったため、新規会員の獲得には至らず、有料会員数は減少いたしました。マーケティング施策により無料会員数は前年同四半期比127.7%と大幅に増加いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は50,843千円(前年同期比39.9%減)、セグメント損失は80,881千円(前年同四半期は56,171千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は2,889,388千円となり、前事業年度末に比べ18,681千円減少いたしました。これは主に法人税の納付等による現金及び預金の減少54,243千円、売掛金の減少38,871千円、投資事業組合への出資による投資有価証券の増加88,515千円によるものであります。

負債の残高は1,476,159千円となり、前事業年度末に比べ114,936千円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少56,680千円、買掛金の減少56,609千円によるものであります。

純資産の残高は1,413,228千円となり、前事業年度末に比べ96,254千円増加いたしました。これは、利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は2,103,991千円となり、前事業年度末に比べ54,243千円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、11,347千円の収入となりました(前年同四半期は66,911千円の収入)。これは主に仕入債務56,609千円の減少、未払金32,963千円の減少等があったものの、税引前四半期純利益141,191千円の計上、売上債権38,871千円の減少等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、121,449千円の支出となりました(前年同四半期は13,254千円の支出)。これは主に投資有価証券の取得による支出90,000千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、55,859千円の収入となりました(前年同四半期は371,242千円の収入)。これは長期借入による収入150,000千円、長期借入金の返済による支出74,141千円、社債の償還による支出20,000千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158,234	2,103,991
売掛金	414,423	375,551
貯蔵品	139	108
前渡金	160,821	136,942
その他	34,089	24,345
貸倒引当金	△2,855	△545
流動資産合計	2,764,852	2,640,393
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	20,831	23,374
減価償却累計額	△7,000	△7,717
建物附属設備(純額)	13,830	15,656
工具、器具及び備品	4,686	5,647
減価償却累計額	△3,054	△3,508
工具、器具及び備品(純額)	1,631	2,139
有形固定資産合計	15,461	17,795
無形固定資産		
ソフトウェア	56,009	65,217
ソフトウェア仮勘定	15,407	14,223
無形固定資産合計	71,417	79,440
投資その他の資産		
投資有価証券	—	88,515
長期前払費用	3,178	2,675
繰延税金資産	24,736	21,144
その他	20,123	32,525
投資その他の資産合計	48,038	144,860
固定資産合計	134,916	242,096
繰延資産		
株式交付費	6,244	5,093
社債発行費	2,055	1,803
繰延資産合計	8,300	6,897
資産合計	2,908,069	2,889,388

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394,835	338,225
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	139,121	160,501
未払金	171,655	138,691
未払費用	62,032	76,997
未払法人税等	106,258	49,577
未払消費税等	41,912	30,403
契約負債	177,622	148,099
その他	24,897	26,423
流動負債合計	1,158,334	1,008,919
固定負債		
社債	140,000	120,000
長期借入金	292,761	347,240
固定負債合計	432,761	467,240
負債合計	1,591,095	1,476,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,890	369,890
資本剰余金	359,853	359,853
利益剰余金	587,229	683,484
株主資本合計	1,316,974	1,413,228
純資産合計	1,316,974	1,413,228
負債純資産合計	2,908,069	2,889,388

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	775,339	723,296
売上原価	35,550	73,295
売上総利益	739,788	650,001
販売費及び一般管理費	456,548	511,121
営業利益	283,239	138,879
営業外収益		
受取利息	5	10
受取手数料	3,983	3,688
債務勘定整理益	—	3,932
その他	3,246	422
営業外収益合計	7,234	8,053
営業外費用		
支払利息	2,200	1,798
支払保証料	1,186	955
株式交付費償却	—	1,150
投資事業組合運用損	—	1,350
その他	3,220	488
営業外費用合計	6,607	5,742
経常利益	283,866	141,191
税引前四半期純利益	283,866	141,191
法人税、住民税及び事業税	94,093	41,344
法人税等調整額	3,953	3,591
法人税等合計	98,047	44,936
四半期純利益	185,819	96,254

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	283,866	141,191
減価償却費	6,720	12,455
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,567	△2,309
受取利息及び受取配当金	△5	△10
支払利息	2,200	1,798
投資事業組合運用損益(△は益)	—	1,350
売上債権の増減額(△は増加)	93,326	38,871
預け金の増減額(△は増加)	15,587	23,878
仕入債務の増減額(△は減少)	△107,336	△56,609
未払金の増減額(△は減少)	△95,307	△32,963
契約負債の増減額(△は減少)	△15,745	△29,522
預り金の増減額(△は減少)	△11,614	1,525
その他	△38,582	6,251
小計	131,541	105,906
利息及び配当金の受取額	5	10
利息の支払額	△2,123	△1,839
法人税等の支払額	△62,511	△92,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,911	11,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△90,000
有形固定資産の取得による支出	△625	△490
無形固定資産の取得による支出	△12,629	△17,912
敷金の差入による支出	—	△13,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,254	△121,449
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△78,758	△74,141
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	—	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	371,242	55,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	424,899	△54,243
現金及び現金同等物の期首残高	1,169,882	2,158,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,594,781	2,103,991

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当第2四半期累計期間の四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	SaaS 事業	マーケティング ソリューション事業	SPAIA 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	276,083	414,673	84,582	775,339	—	775,339
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	276,083	414,673	84,582	775,339	—	775,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	276,083	414,673	84,582	775,339	—	775,339
セグメント利益又は損失(△)	164,400	272,405	△56,171	380,634	△97,394	283,239

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△97,394千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	SaaS 事業	マーケティング ソリューション 事業	SPAIA 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	322,021	350,431	50,843	723,296	—	723,296
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	322,021	350,431	50,843	723,296	—	723,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	322,021	350,431	50,843	723,296	—	723,296
セグメント利益又は損失(△)	194,832	157,687	△80,881	271,639	△132,759	138,879

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,759千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。